

第2回大網白里町市制施行名称検討委員会 議事要旨

議 事 概 要	
会議の名称	第2回大網白里町市制施行名称検討委員会
開催日時	平成24年1月17日(火) 午後1時30分～4時10分
開催場所	中部コミュニティセンター2階視聴覚室
出席者氏名	<p>19名中18名出席(名簿順)</p> <p>委員 倉持 安幸            委員 宮間 文夫            委員 一色 忠彦            委員 田辺 正弘            委員 関谷 昇(委員長)            委員 古山 豊            委員 伊藤 辰彦            委員 小林 武(副委員長)            委員 大川 英城            委員 上野 治男            委員 田中 隆雄            委員 丸岡 謙一郎            委員 川戸 一夫            委員 八角 榮子            委員 小川 公延            委員 吉田 喜久夫            委員 萱生 富二雄            委員 倉持 正博</p> <p>町(事務局)            企画政策課            課長 伊藤 栄朗、副課長 石原 治幸、室長 林 浩志、            参事 古山 正洋、副主査 加藤岡 裕二、副主査 菊池 有輔</p>
欠席者氏名	委員 中村 孝市
傍聴者人数	2人
審議の概要	市の名称について

### 次第1. 開 会（進行）

ただいまから第2回大網白里町市制施行名称検討委員会を開会いたします。

本日の委員会には、只今18名の委員の御出席をいただいております。これは、委員19名の過半数を満たしておりますので、大網白里町市制施行名称検討委員会条例第6条第2項の規定により本委員会が成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、中村委員におかれましては、本日所用のため御欠席との連絡をいただいております。

### 次第2. 委員長あいさつ（委員長）

本日は、お忙しい中、お寒い中お集まりいただきありがとうございます。前回から名称検討委員会が始まって様々な議論をいただいているところですが、本日も忌憚のない意見をいただきながら、答申に向けて活発な議論を展開できればと思っております。

今日も引き続きご協力の方よろしく申し上げます。

### 次第3. 議題（進行）

議事進行につきましては、大網白里町市制施行名称検討委員会条例第6条第1項の規定によりまして、委員長が議長を務めることから、委員長よろしくお願いたします。

（委員長）

議事に入る前に、前回の簡単な振り返りですが、事務局からこれまでの経過報告で、昨年7月に住民アンケートを実施してその結果の報告をいただき、市制施行の準備状況の話をしていただきました。この町としての考え方ということで、近年単独市制に伴い名称変更をした事例はないことや、アンケートで「大網白里市」という名称が回答数としては58%あったということ、合併と異なり行政区域が変わるわけではないので町としては継続名称を希望したい、合併以来57年間経過して大網白里という名称が町民にも根付いているのではないかと、という報告がありました。

それらの報告を踏まえた上で、委員の皆さんからそれぞれの立場からの考えや思いを一通りお聞きして、その中で特に関心のポイントとしては、昨年実施したアンケートは回収率が20%程度で非常に低かったという意見などがあって、改めて町民の意見をどのように考慮すべきなのかといった意見を多々いただきました。特に、若い世代を対象に名称を聞いてみたらどうかということや、もう一度歴史の説明を踏まえた上でアンケートを実施すべきではないかということ、アンケートを実施するには区長会のご協力いただいたらどうかということ、満遍なく色々な世代にもう一回やったほうがいいのかどうかという意見もありました。更にはI委員から大網白里という名称が出来た歴史的な経緯をわかりやすく説明いただきました。

また、アンケートを実施する場合、どういったやり方をすべきなのか、昨年アンケートを実施しているので、そこで出た意見というものを尊重すべきだと意見もあれば、20%にとどまっているのもう一回やったほうがいいのか、その場合はどのようにアンケートを改めてやり直したほうがいいのか、昨年7月に意見を聞いているのでそれを無視する訳には当然にはいかないということで、それを尊重する更にプラスアルファが必要なのでは等ご意見をいただきました。

今回はアンケートについて委員会として最終結論まで至らなかったもので、今日は改めてアンケートをこの委員会として取り扱っていくか議論をいただければと思っております。

前回のアンケート結果、歴史的経緯を踏まえた上で、アンケートを行ったほうが良いのではないかと、前回のアンケートで聞けなかった子供達を対象とした、前回のアンケートと

対象を分けた形で聞くという意見、色々出ておりましたが、今後アンケートを実施した場合には物理的にどうすることが可能なのか事務局に精査、検討をいただいた部分もありますので、この辺について少しつめた議論をしていきたいと思えます。

既に事前配布として資料1が届いているかと思いますが、お手元に資料2「答申までのプロセス」を本日議論していく素材として事務局に準備していただきました。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

=資料1、2について説明=

(委員長)

前回アンケートを巡る取り扱いについては、色々なご意見をいただき、例えば昨年7月にアンケートを既に大規模な形で実施しているので改めてやる必要がないのではないかという意見。改めてやる必要がないという意見の中でも、色々な考え方があって、一つはそこで一定の回答数、それが仮に回収率が低かったとしても一定の意見をいただいているのだから、それを踏まえた上でこの委員会で最終的な答申を作れば良い考え方もあれば、アンケートにあまり依存しすぎるのも良くないのではないかという意見、アンケートではどうしても感情的な部分など、色々な要素が入ってきてしまうので、それに左右されすぎではどうかと、もちろん住民がどういう意向があるのかということ、この委員会でしっかりと踏まえることは必要ですが、必ずしもそれだけに左右される必要はないのではという意見、等々があってそれがいまの事務局が提示している資料からすると、資料2のA案がそれに相当する部分かと思えます。今ある資料を踏まえた上でこの委員会で議論を進めていくべきだという考え方。

それ以外には、逆にアンケートは実施すべきだという意見。7月のアンケートが20%だったからもっと多くの町民の意見を聞いたほうが良いという考え方もあれば、7月の後、住民説明会等色々な形で住民も考える機会があったので、その経緯を踏まえて最新の住民の意向を改めて聞いたほうが良いのではという意見、その辺がB案やC案に相当してくると思えます。

アンケートを改めて実施するといった場合にも対象をどうするか、今回は広報誌から切り取ってアンケートに答えていただく形にした訳ですが、もう少し違ったやり方が良いのではないか、特に区長さん方のご協力をいただければ、過去の例にあるようになかなか高い回収率が見込めるのではないかとこの点でアンケートを世帯単位で実施したら良いのではという考え方もあれば、子供達の声が必ずしも十分に取れていないので、これからの町を担う子供達の意見を直接聞こうということで小中学生に限定したアンケートでも良いのではという意見もあり、それはB案、C案の対象者、配布回収方法をどういう組み合わせでいくのか、色々な考え方ができるのではないかと思います。

一応、A、B、C案を踏まえた上で、物理的な可能な案として事務局から案1から案5を検討材料ということで提示されておりますが、これから資料を踏まえた上で委員の皆さんにどういう方針で行くべきかのご意見をいただければと思えます。

(〇委員)

事務局に尋ねます。区長さんに頼んだ場合の印刷代が30万円とありますが、学校に頼んだ場合は0円ということで、生徒実数は全世帯の1割強の人数ですが、費用はかからないのですか。

(事務局)

厳密に言えば紙代および印刷代がかかりますが、町で調査票を印刷ができるので印刷代は0円です。区長さんに依頼する場合は返信の仕方にもよりますが、調査用紙を印刷業者に発注するための印刷費用です。委員が言われるように学校に頼んだ場合にも若干の紙代等がかかりますが、資料には便宜上0円とさせて頂いております。

(O委員)

学校に頼むのと、区長さんに頼むのと調査票は別ということですか。

(事務局)

学校にお配りする資料については、小中学生が答えることからふりがなをつけたり、表現を簡単にすることや、歴史の引用をI委員からいただいた資料の他に小学校で使っている副読本等の資料を引用したもので作成を考えております。

(B委員)

印刷製本費について区長会世帯数 15,000 件の場合と、抽出 3,000 件の場合とでも同じように 30 万円かかるのか、ちょっと違うのではないかという点と、返信をハガキとした場合は 65 円ということですが、往信 50 円で何故返信が 65 円なのか。

3の回収見込みについて住基世帯数の備考の部分で、外国人世帯を含むとありますが、外国人はまだ住民基本台帳登録しないのではないかと考えているのですが、ここでいう外国人世帯というのは外国人登録してある世帯なのか、それとも外国人と日本人の混合世帯が入っているのか明確にしていきたい。

(事務局)

印刷の費用については厳密に言えば費用は変わってきますが、資料では作業の簡易化を計る観点から一律で計上させて頂きました。実施の段階では精査して行っていきたくと思います。

返信と往信の金額の違いですが、返信を料金受取人払いした場合には、手数料として 15 円プラスされます。最初から切手を貼っておいた場合では回収だけできないものにも切手を貼ってしまうことになり、通常このようなアンケートでは料金受取人払いとすることから、15 円手数料がかかります。

外国人世帯につきましては、混合世帯と外国人だけの世帯が含まれたものであり、全ての町内世帯を対象とした場合としてあくまでも最大値として計上しております。

アンケート諸費用につきましては、本来であればそれぞれのケースで見積を聴取し、参考として提示すべきだと思いますが、実際アンケートをやるか決まっておりましたので、7月に実施したアンケートの諸費用を参考として計上しました。

(B委員)

先程、委員長が前回の総括をしていただきましたが、私の印象と違うのは、前回は歴史的経緯をきちんと踏まえた上で、再度アンケートすべきとなったのではないかと思います。議事録を見ても、委員長が「アンケートを実施するにあたって、ただ印象論で実施するのではなく、歴史的

な経緯とか、大網白里という名にどういう意味があるのか、どういうメリットデメリットがあるという情報を住民に提供した上で、アンケートに答えていただくようにしなければ、私は行いう意味がないのではと思います」と言われていて、これは委員長個人的な意見ではなくて皆さんの議論を聞いた上で総括されたのではと思っています。そういう意味では今回事務局から出していただいた資料2でA案B案C案いずれも7月に実施したアンケート結果を尊重と書いてあり、C案については改めて新しいアンケートを実施すると書いてありますが、資料1でも前回I委員が指摘した歴史的事実を説明した上でアンケートを実施する場合の歴史的事実の説明の仕方が、いま一つ良く見えなく、どのように説明するのかということでアンケートの手法が大きく変わってくるのではないかと思います。例えば前回I委員が作っていただいた資料をアンケート用紙にただ添付するだけなのか、それとも区長会で区長から住民に説明していただくのか、あるいはそのような説明会を開催するのかということによってアンケートの手法が変わってきます。その点をつめる必要があるのではという点が一点。

アンケート結果をどのように評価するのか、どのように新しい市の名称を決めるという判断基準を事前にきちんと詰めておかないと、アンケート結果を見て後から意見が出てきても困るので、どうやって評価するか、決めるかということを決める必要があるのではという点の二点を議論していただきたいと思います。

#### (委員長)

B委員が言われるよう、前回の委員会でもただ改めて7月に行ったアンケートと同じようなことをやるだけでいいのかということで、I委員から説明いただいた歴史的経緯や名称の由来の情報を提供した上でアンケートを実施する。これは今後もしアンケートを実施することに合意がなされれば、その辺の情報提供をどのようにすべきかをこの後議論させていただきます。

アンケートを実施することになった場合にはその取り扱い方、この委員会の答申内容が、アンケート結果とイコールなのか、それともそのアンケート結果を踏まえた上で各委員がどのように結果を受け取り、議論されるかについて皆さんのご意見を伺いたいと思います。

歴史的な経緯の情報提供の仕方について事務局から考えている案があればお願いします。

#### (事務局)

歴史的経緯についての説明は、アンケートを実施すると決定していない中で、先走った形になりますが、仮にアンケートを実施する場合には、第1回委員会でI委員から提示していただいた資料を元に内容を詰めたものをアンケート用紙と共に送付し、それを読んでいただいた上で回答していただく考え方をしております。アンケートを行うこととなった場合に資料をお渡しして、議論していただきたいと思います。

#### (D委員)

前回の流れでは、再アンケートを行うという意見の委員が非常に多かったと思います。そのアンケート内容をどうするかはアンケートを行うと決定してからすべきだと思います。アンケートの添付資料についてもアンケートのやり方のところで話をすれば良く、前回アンケートの結果や誘導的だと指摘された欠点、町が目指している方向、町民憲章で表している「明るく豊かな田園文化都市」を表す良い市名があるのか、歴史的な面がどうなのかはI委員から資料をいただきましたがこれは詰めなければならない、さらに地理的な面で最近流行りの「四国中央市」などに類

した名称で第1回アンケートでも「東千葉市」、「南千葉市」が出ています。最初に事務局が示した、最近単独市制になったところは名称が変わったところはない例等全部付けなければアンケートやる意味がない。

技術的な面では、案の中で世帯で考えているのと、個人で考えているのと混在しており、世帯でアンケートをすると前回と同じことになり、世帯主が答えることから高齢者の回答が多かったという話が出てくることや、地区によって談合してしまうことが怖いという意見もありました。そういう点もクリアするとしたら、当然個人単位でやらなくてはいけない。

そこでお聞きしたいのは、資料に3,000人や5,000人を抽出した場合があるということは、住民基本台帳を使って抽出先の個人を特定することになるが、それはできるのですか。区長会でその個人にお願いに行くと回収するということがプライバシーが騒がれている中でできるのですか。

(事務局)

住民基本台帳から3,000人や5,000人の抽出は可能です。

抽出は、年代等を指定するとランダムにコンピュータで抽出します。任意の人を選択することはできません。したがって抽出調査の場合は区長会配布ではなく、郵送となります。

(D委員)

全年代に郵送となるのですか。年代ごとの偏りをなくした調査を行うならば、年代ごとに調査を行うべきだと思うのですが、その場合、区長が関与してお願いに伺う場合は個人名が出てくる。そういうやり方しかありません。郵送でやるとしても区長会が絡まないと回収率が上がらないのではないのでしょうか。

(事務局)

区長会に配布回収をお願いした場合には、世帯で話し合ってもらい、世帯主とは限らず代表者が回答していただく形しかないかと思っており、世帯人数をよとの配布は難しいかと思えます。したがって、区長さんに配布回収をお願いした場合は、世帯で一つの回答となるかと思っております。

(委員長)

前回の議論では、アンケートをやるかやらないかについては最終的な結論に達しておりません。比較的アンケートをやったほうが良いのではという声が多かったのですが、結論を出さずに次回に引継ぎましたので、今日決めたいと思いますが、まずは、広い意味でアンケートをすべきかどうかについて議論をお願いしたいと思います。

(副委員長)

前回の委員会で、区長会会長として意見を述べさせていただきました。区長会会合等で7月に行われたアンケートは非常に懐疑的な意見を持っている方が多いということを目にした中で、やり方等が良かったのかという点から、もう一度いかがかと言いました。

この委員会は、町議会で承認された名称検討委員会という位置づけで委員会を開催している訳で、本来であればアンケート抜きで決定することができる委員会だと思っております。

ただ、先程申しましたように区長会として色々な意見が耳に入っている観点からもう一度皆さ

んお考えいただき、やり方についてはこれから先決めていかなければならないというところで前回委員会ではアンケートを正式にやりましょうという形ではなかったと思います。アンケートを行った場合にはどういうアンケートができるのかということで、事務局から資料の提案がされているところです。そのところをお間違えないようお願いいたします。

この委員会で全てを決定してしまうことが可能な委員会であると思っておりますが、よろしいでしょうか。議員の方もおりますので認識を新たをお願いしたいと思います。

#### (B委員)

D委員も世帯に聞くことはどうなのかと言われていましたし、事務局からも世帯の中の各個人に別々にアンケートを送るとするのは実態として難しいということですが、資料1を見るかぎり費用面で見れば区長会の協力を得て配布回収していただくのが一番安いのが世帯単位となってしまふ。16歳以上に個々に送るとなると大変なお金がかかってしまふ。そこを一緒にすれば良いだけで良いのではと思いますが、前回アンケートでも世帯でよく相談して決めてくださいという聞き方をしている。ここがもう一つ具体的にプロセスが見えるような形でアンケート調査票を作らなかつたところがちょっと残念だったことと思うのですが、各世帯構成員それぞれの最初の意見を書くようにする。娘の意見やおばあちゃんの意見を聞いて、その世帯で色々相談した結果を書いてもらう形のアンケートを集計すれば良いのではないかと思うのですが、その次の段階として折角区長会に協力していただくのであれば、世帯単位で決めていただいたことを、今度はブロック単位とか班の中で議論していただいて班としての意見を出してもらう。次に区会、自治会としてはこうだという議論を答えが出るかわかりませんが、行って行ってそれを集計、あるいは区長会での結論をと。何が言いたいかといいますと、最初で最後の機会なので、多くの住民がこの町をどうしたいのか、どういう名称にしたいのかという議論ができるような仕組みを提供すべきなのではと思うのですが、多少時間がかかったとしても私はやる意義が十分あると思っております。

前回も言ったように市制施行は都市化であり、都市化の弊害はコミュニティの崩壊ですから、そのためにもコミュニティを再考、再生するような形で住民皆に議論していただく良い機会にすべきなのではと思っております。

#### (I委員)

確認しておきたいのですが、前回、今回も出ております、誘導的なことが7月のアンケートにあったのではないかという点です。事務局から送られてきた資料をみると全世界でもべらぼうな金額がかかっている。7月のアンケートではどのくらいの費用がかかったのかの質問が一つ。

もう一つは20.5%の回答で少ないのか、本当にもう一度やるべきなのか、否かということが皆さんから意見が積極的に出てはいなかったのですが、その確認とご意見あればいただきたいのですが。

#### (事務局)

7月に実施したアンケートの費用については、概算で約110万円かかっております。これは印刷から、返信用郵送代、集計委託が入っております。

20%の回収率の関係ですが、先進自治体のアンケートの事例では同じように広報誌に同梱して配布し、回収を郵送で行った例ですと、石川県の野々市市が28.2%、愛知県の長久手市が21%、愛知県の東浦町が22.4%でした。本町は20.5%で若干低いですが、おおむね同じような数値とな

っております。

(委員長)

回収率 20.5%がそもそも低いのか、仮に若干低いとしても改めてやる必要があるのではないか、一つの結果が出ているので必ずしもやる必要がないのではないか。昨年の結果だけでは不足だということを巡ってご意見をいただければと思いますがいかがでしょうか。

(D委員)

私は仮にアンケートをするとすればC案だと思います。C案の中でもやり方としては、個人ベースでやるべきで、世帯ベースでやるのでは20%程度回収率が上がるだけで、結果はおそらく同じだと思います。年長者の意見が出てくるだけの話ですので、年代別に抽出ができるのであれば年代にバランスが取れた格好で個人としてのアンケートをとるべきではないかと思います。そうでなければアンケートをやる意味がないと思います。

(E委員)

我々は市の名前をここで考えてほしいということで任命されたので、あくまでもアンケートは方向を決めるための一つの参考意見だと思います。

ですからここで歴史的背景などを色々と教えていただきそういうものを前提に踏まえ、新しいアンケートをせずにここで、こういう風に名前を決めていったらいかがでしょうかという結論を出しても良いのではないかという意見を持っています。

(B委員)

D委員は、答えは住民の中にあり、だから広く個人に聞いて、それおそらく多数決で一番多い名前にしましょうということだと思うのですが、私は折角最初で最後のチャンスなので、住民にきちんと考えていただく機会にすべきで、大網白里という地域をどういう市にしたいのか、そのための名前はどうしたら良いのかというのを世帯ごとに、あるいはブロックごとに区会ごとに考えたらどうなのかとっており、19名の委員で決めることは時間はかかりませんが、もったいないと思うので、地域が一つにまとまって考える良いチャンスなのにそれをみすみす無くしてしまうのではないかということが残念です。

(副委員長)

合併の際に大網と白里で折り合いが付かず大網白里となったという経緯からすると、皆さん各地元の名称を非常に大事にされており、白里海岸に近い地域の方、役場を中心とした地域の方の二極性の中で我々委員会として選択していかなければならないことを考えると、アンケートをもう一度行っても結果は大きく変化することはないのではないかと思います。7月のアンケート3,500件を尊重しつつ、若い世代の方々の意見を聞いた上で判断していくこともできるのかと思います。

(B委員)

7月のアンケートは誘導的でした。前回の議事録でも事務局が「町の考え方、市の名称についてはこれまでの歴史や伝統を後世に引継いで愛着、親しみを持った大網白里町を継承した大網白



里市が妥当ではないかという判断で進めてきました」とはっきり申しておりますので、執行部としては「大網白里市」が妥当ということがあってのアンケートでした。アンケート用紙を見ても問8で大網白里市が良い、他の名称が良いと書いてあり、明らかに誘導です。これは執行部として大網白里市が良いと思っているからで、問6と問7の設問でも町から市になることで良いと思う理由は5個あって、良いと思わないのは4個しかありません。選択肢が1個少ないだけでも、選択肢が多いほうが答えやすいこともあり、ここも町から市になることが良いという町の姿勢が表れています。これはかなり偏ったアンケートだったのではということ、歴史的経緯を踏まえて再アンケートすべきだと、前回そういう意見が多かったのではないかと考えています。

事務局が、歴史や伝統を後世に引継いでと言われていますが、I委員の説明によると、この大網白里町という名称そのものが昭和29年の町村合併のときに、町民が一つになれなくて県知事に裁定していただいたという、実は情けない名称であり、負の歴史を背負った名称であって、57年先送りしてきて、ようやくきちんとケリをつける時が来たのにこれを大網白里市にそのまま歴史的伝統だと書いて良いのか多いに疑問があります。

#### (事務局)

B委員の発言の「事務局は大網白里市ということを決めてアンケートを行っている」ということについて、私共はあくまでも住民の方の民意というものをまずはお聞きしたいということで、広報で色々情報を流させていただき、住民の方はどういう意向があるのかということが、7月のアンケートの最大の目的でありましたので、大網白里市ありきでアンケートを実施したということとは決してありません。

本町は市町村合併の議論が何年か前に起きた経緯があります。市町村合併は名称がかなり重要な部分だと思いますが、今回単独市制ということで色々な全国の事例を調べたところ、名称を変えたところは、既に同じ名称があったところを変えており、最近の県内の八街、富里、白井は単独市制でしたので事例を紹介しました。これを見ると必然的に大網白里町が大網白里市になりますと誘導だご指摘いただいてもいた仕方ないかと思いましたが、大網白里市ありきでアンケートは実施しておりません。

#### (L委員)

前回申した意見と変わっていないのですが、20.5%という回収率云々よりも、提出しなかった8割の方はどちらでも構わないのではないのでしょうか。色々な方がいるのでとても興味を持っている方、どちらでも構わない方がおり、要は住みやすく、未来を担う子供達が居心地の良い街にしてくれれば良いのではないかと思います。この委員会は名称を決める委員会ですので、私個人としては住民に全体に伺うことは、ここでは関係ないのですが、町から市になることについて全住民に聞くようなところでお金を使ってほしいと思います。

市の名前ということであれば、8割方の意見を言ってくれない方はどちらでも構わないと思っている訳ですから、意見を言うことができなかつた小学生、中学生、高校生に聞くのが良いと前回発言しました。高校生というのは、大網高校は町外の生徒もおり、外から見た大網白里町というものをどう思っているかを判り、いまは町外に住んでいても将来大網白里町で働いてくれるかもしれないので、高校生もどうかと思いました。

いずれ子供達も一度町を離れて違う世界を見て、また大網白里町に帰ってきてこの町を良くしていってくれるような未来を含め、色々な意味でここにいる委員の方々がその子達に希望を与え

てくれる名前が付けられることを望んでこの席に着いております。

アンケートに関しては20.5%の意見は尊重させていただいて、プラスアルファ子供達の考えを私達委員が選べるソースにさせていただいたら良いかと思っており、再アンケートに要する費用はもったいなく、それなら子供達のために使ってほしいと思う位で、学校の先生方をお願いして次の委員会の時に参考として提示してもらえないかと思い、前回発言しました。

#### (O委員)

すでに前回と今回で5時間位同じ議論していて、先に進みませんから、いままでのアンケートも重要だし、これからのアンケートをやるのかやらないのかも重要です。一旦ここでアンケートをどういう組み合わせでやるのか、やらないのか採決を採っていただき、残りの時間は町民が提出していただいている前回アンケート結果をどう揉んでいくかを次回に並行して行っていくのはいかがでしょうか。そうしないと先に進みません。

もう一点、私個人的な意見ですが、L委員から大網高校の名前が出ましたが、私は大網高校の名称をつける委員でした。実は大網高校は上から4番目でした。色々な名前があり上位に3つ別の名称がありました。そうでしたが、「沿線を考えてください、駅名があつて高校名がないのは大網だけです。それだけ付け足して県に上げてください」とお願いしました。そうしたらたまたま大網高校になりましたが、千葉駅も最初から千葉駅ではなく、要町、栄町でした。たまたま千葉郡が千葉市という経緯でした。どうか残り時間を先に進むような意見交換にしてもらいたいと思います。

#### (D委員)

決を取る前に、私は世帯ごとにアンケートをするのであれば前回アンケートと同じ結果しか出ないので意味がなく、やるのでしたら個人ベースでやりましょうという主張です。

年代構成に沿って抽出を行えば、L委員が言われた子供達の意見も反映でき、地区ごとの問題も反映できます。そうしたからといって区長会が配布回収できないということはないと思います。個人名が特定できればお願いに回ることができ、そうすればコストが30万で済みます。個人ベースで出来るのか出来ないのかがはっきりしないと、採決の判断ができません。

B委員が言われている、家族ごと、区ごと、ブロックごとというのは多数決を重ねるだけの話で、個人ベースで行えば良いことだと思います。

#### (M委員)

私は、アンケートはもう一回やるべきだと考えています。前回のアンケートはそれなりに考えて行われたと思いますが、色々な方から聞いてみたところ、やはり誘導的であったということ非常によく聞きます。このまま前回のアンケートだけを基本にここで議論して決めてしまうと、いつまでも残っていつまも残ってしまいます。前回A委員も言われましたが、これがいつまでも残るよりも少しでも是正するような形のアンケートの手法をこれから考える方向に進めたらいかかかと考えております。

#### (委員長)

アンケートを実施するのか、しないのかについて確認をとらせていただき、アンケートをやるということであれば、やり方については再度決めさせていただくという手順でよろしいですか。

=異議なしの声あり=

それでは、アンケートを再度実施したほうが良いという方、挙手をお願いします。

=挙手 13 名=

人数的にかなり多くの方が、アンケートを再度実施したほうが良いというご意向であり、アンケートは実施するという事で確認させていただきました。

これを踏まえた上でどういうアンケートを実施したほうが良いかということですが、いまのところ出ている意見では、子供達を対象としたやり方、区長さんの協力をいただき再度世帯配布、抽出で行う方法で、資料 1 にある案 1 から 5 のやり方があり、この中から選択するか、もう少し違った選択肢を加えたほうが良いでしょうか。

(A 委員)

案 2 の小学 6 年生、中学校全生徒に大網高校の生徒を加えたアンケートがいかがかと私は考えております。

(L 委員)

私も同様です。子供達の意見を一つのソースにして、委員会内で決めていくことが委員会のあり方だと思い、ぜひ高校生も入れてください。

(B 委員)

私は案 1 の区長世帯数に対し実施すべきと思っています。その際に、各世帯構成員の意見がきちんと把握できるような調査票を作り、年齢性別が入るような調査票を作れば個人、世帯両方の意見が取れ、世帯で話し合った結果もわかり一石二鳥だと思っています。折角区長会があるのでこのネットワークを利用すべきです。

気になるのは区長会加入世帯と全世帯で 5 千も差があり、この 5 千世帯を無視する訳にはいかないので、区の役員等がアンケートを持って行き区会に入っていていただく良い機会になるのではないかと思います。

(委員長)

一度休憩を取り、休憩後に決を取らせていただきます。

=休憩=

=再開= ※F 委員、都合により退席、現在出席委員 17 名。

(委員長)

それでは再開します。

アンケートを実施することについては合意を得ました。アンケートをどのように実施するのか

については、世帯単位か、個人単位か、抽出で行うかというものがあります。子供達の意見を聞くということについては否定されている方はほとんどいないと思ひまして、これは学校単位で行えるので、世帯単位でも抽出であっても、別に子供達の意見を聞くことは可能です。

これらを踏まえた上で皆さんの意思を確認させていただきたいと思ひます。

(D委員)

抽出方法でやれば子供達の意見も反映できます。

(副委員長)

アンケート結果が即、答申に反映するのではなく、委員会において町長に答申する一案を決定するものであり、その決定の仕方が最終の結論になっていきます。皆さんの意見を聞いていると中々判断が出来ず、委員の絶対多数をもってこの委員会としての名称を答申する考えになると思ひます。その点を踏まえた上で意見をいただいてまいりたいと思ひます。

(委員長)

アンケートはあくまで参考にする一材料であるという認識については、特段異論はないかと思ひますがいかがでしょうか。

=異議なしの声あり=

では、それを踏まえた上で、我々の判断材料の一つとしてアンケートを実施することについて確認させていただきました。アンケートのやり方として案1から5から選び、細かな点については調整するというところでよろしいですか。

(O委員)

B委員は世帯、A委員は生徒、D委員は抽出と意見が出ているので、その3つから選ぶことはいかがでしょうか。

(M委員)

抽出というのは16歳以上の抽出ですか。全年代ですか。

(委員長)

事務局説明をお願いします。

(事務局)

資料では16歳以上の抽出となっておりますが、この委員会でも出ました若干の修正については可能です。

(M委員)

私も個人ベースでの抽出でないと意味がないと思ひています。ただ、抽出の中でも若い世代の意見を聞きたいと思ひていますので、案3が良いと考えており、そうすれば全世代の意見が反映

できると思います。

(委員長)

案3では高校生は入っておらず、抽出3,000人プラス小中学生ということですか。

(事務局)

抽出では町内在住の高校生は含まれております。

(I委員)

前回のアンケートではD委員からありましたように、世帯という何人いるかわからない中で、世帯で協議して書いたものなのか、世帯の代表が書いたものなのかもしれない。我々としては世帯の声だと受け止めており、細かく分析すれば30歳未満とか40歳未満という段階に分けられた集計ではありましたが、今度個人でアンケートを取ると、世帯という複数の回答と個人の回答の重さが同じとした場合、選挙と同じ一票の格差がでてしまいます。従って委員長からあくまでも参考にするという、ここをしっかりと押さえていかないと、大網が多いとか大里が多いとか数の上で紛糾する可能性が強いと思っています。

あくまでも参考にするという認識を持っていただき、前回のアンケートの費用110万円は安い金額で済んだと私は思っておりますが、資料にある費用をかけて2回も同じようなアンケートをする必要があるのか、それならば寄附した方が良いと思っています。数字の上での多さで判断しないということを委員全員肝に命じて、本町は必ずしも裕福ではないので費用をかけずに回答率の高い住民の声を反映するアンケート方法でないといけないのではと思っています。

我々は各会の代表の一人ひとりとして、責任と幅の広さをもって判断し、個人の主観的なものがあまり入らないようにした判断をするべきなのではと思っています。

(Q委員)

私はアンケートをとる必要がないという意見でしたが、アンケートを取るとした場合での意見を言おうと思います。

再アンケート結果を参考にして、またこの委員会で名称を決めるということは、私が最初に考えていた再アンケートをする必要がないということと同じところにもう一度戻ってくると思います。そうであれば、10歳からお年寄りまで意見を聞きたいと思いますが、回覧板で皆さんの意見を聞くことは出来ないでしょうか。そのようなアンケートの方法を私は希望します。

(副委員長)

区長会会長としての意見ですが、Q委員の言われた地区回覧については、決して無理ではございません。ただ、個々の守秘義務について慎重に取り扱うことが必要となると思います。

(L委員)

私は子供達だけの意見を聞くだけで良いということで、案2を希望しておりますが、これから採決を採る際に、案とその案にかかる費用も併せて説明して採決を採っていただきたいと思っております。

(副委員長)

Q委員が言われたのは案1を回覧板形式でだと思われませんが、事務局から案1のやり方について説明をお願いします。

(D委員)

私は、回覧は意味がないと思います。少なくとも回収は封書で回収しなければなりません。郵送回収か区長会で回収かは別として、封書で回収しないと守秘義務の問題がクリアできず、回覧版ではできません。

(委員長)

世帯単位で実施する場合、いまの事務局案では一世帯で一意見を求める形です。意見の中では世帯単位で聞いても、個人個人の意見は聞けるのではないかという意見がありました。

回収方法にはモラルの問題も関わってきますのでここをどうするかですが、例えば5人家族であれば一覧表に5人の枠を作り全員の意見を封書で一括して回収するというやり方や、ハガキで回収するやり方もありうるかもしれません。世帯単位で考えた場合の可能性について事務局説明をお願いします。

(事務局)

案1の区長会世帯15,222件を区長会にお願いし配布していただく場合の事務局での考え方は、配布は区長さんに配布していただきますが、回収については大きく分けて二通りあります。区長さんに回収していただく方法と郵送で回収する方法があり、郵送ではハガキと封書があります。区長さんに回収していただく場合でも記載内容がわからない形でのやり方を考えていかなければならないと思います。

先程のご意見いただきました世帯人数ごとに書いていただくやり方については、区長さんや班長さんに世帯員の名簿等を渡さなければ、実数を把握できずアンケートを行う場合の管理上の問題がありますので、検討案には含めておりませんでした。

(委員長)

世帯というのは、あくまでも一世帯、一意見ということで回収方法は二通りあるということでした。このことを確認した上で決を採ることによろしいですか。

=はいとの声あり=

I委員が言われたように、アンケートを行うにしても我々委員がこの委員会の中で最終的な答申をするにあたっての一助であるという点については確認させていただきます。その上でアンケートの方法3つ、世帯単位、子供達のみ、子供達と抽出調査(郵送)から決を採ります。

(L委員)

抽出というのは、去年7月にアンケートに回答された方に再度送られることもあり、もう一度アンケートをするという形になるのですね。7月に回答したのにとクレームが来ることもありえて、7月のアンケートはどうになってしまうのですか。

(委員長)

それは、アンケートをどういう主旨で行うのかで違いますので問題ありません。7月のアンケートは尊重し、その上で新しい情報が入ってきているのでその連続の中で実施する形になると思います。

(D委員)

抽出でやるにしても私は区長会が関与した上で、抽出先に届け、回収することが可能ではないかと考えますがいかがですか。

(E委員)

それらは、アンケートの方法を3つのうちから決めてから考えれば良いと思います。

(委員長)

それでは3つの中から方針を決めて行きたいと思います。  
一番目の世帯単位で実施することで賛成の方挙手を願います。

=挙手5名=

二番目の子供達のみの実施で賛成の方挙手を願います。

=挙手6名=

三番目の抽出での実施で賛成の方挙手を願います。

=挙手5名=

(事務局)

世帯単位が5名、子供達のみが6名、抽出が5名となっております。

(委員長)

結果ですと子供達のみが総体的に多かったです。

(M委員)

決定の手法として3つの中から選ぶ場合、この程度の数の差で最大の数をとってよろしいのでしょうか。2つにして決選投票という形にするものではないでしょうか。3つの中で一番多いものを取るというのは、私はちょっと納得いかないのですが。

(委員長)

拮抗している場合は更に議論を続けるやり方もあれば、拮抗しているが出た結論を尊重するやり方もあります。

あくまでも、これが最終決定であればともかく、先程確認させていただいたように、アンケートは我々が考える一助でありますので、私は拮抗はしていますが、いま出た結論を尊重したアンケートを実施し、この委員会で議論を充実していきたいと思いますがよろしいでしょうか。

=異議なしの声あり=

子供達というのは、小学校、中学校のみということでよろしいですか。先程高校もという意見もありましたが、改めて事務局からお願いします。

(事務局)

採決の結果、案2となりましたが、ここで参考資料としてアンケートのたたき台資料を配布させていただき、それを見た上で議論を進めていただきたいので、資料を配布してよろしいでしょうか。

(委員長)

配布していただき、資料の説明をお願いします。

(事務局)

小学校、中学校の児童、生徒を対象としたアンケートということですので、簡単なものにしてあります。

=参考資料の内容説明=

たたき台の中では、7月のアンケート結果の上位10位までの名称を掲げてありますが、議論の中でそれらの必要有無や追加内容について議論していただければと思います。

裏面には、歴史的経緯の説明として、大網白里町誕生の歴史をとということで小学校3、4年生が社会科の授業で大網白里町のことについて学んでいる「私達の大網白里町」という本から引用した歴史等の資料になっています。大網白里町の名称についてはI委員からいただいた資料を元に名称についての記述を加え、最後に大網白里町合併時の人口を参考資料として載せたアンケート用紙となっております。

実施に際しては、まだ決定していなかったことから教育委員会部局と打合せは一切していない中での提示ですので、今後行っていく中では修正があると思いますが、今日この場である程度の方向性を出していただければ、その方向で検討させていただければと思っております

先程は、小中学校の児童生徒を対象にと説明をさせていただいたところですが、ご意見の中で大網高校の生徒もという意見もありましたので、再確認をしていただきたいと思っております。

(委員長)

事務局から子供達を対象とした場合の案を提示していただきました。この原案を巡ってご意見をいただきたいと思っております。

(Q委員)



市の名前を聞く問3で、「その他」を入れていただきたいと思います。

(委員長)

「その他」という項目を追加し丸印をつけてもらうということでしょうか。

(Q委員)

事務局から説明がありました、10番まで記載しておく必要があるかは私はわかりませんが、10番までのものにしか丸印をつけられないというのは、これからのこの地域を背負っていく少年少女にとっては、他に考えがあっても書けないという捉え方をするかもしれませんので、その他があれば書きやすいかと思います。

(M委員)

資料の「大網白里誕生の歴史」は良くまとめていただいておりますが、白里村が白里町になったのは書いてありますが、大網町がいつ出来たのかが書かれていないので、入れるべきではないかと思っています。

(I委員)

大網白里町史等々では、明治22年から昭和29年12月まで大網町であったとされています。

アンケートが完成したとき、クラス担任が配布することになりますが、担任が自分の主観が入れて説明しすぎてしまうと、小学6年生や中学校1年、2年生は非常に影響を受けます。そこは教育委員会を通じて良いアドバイスをする必要があります、そうでないと客観的なものになりません。あくまでも結果を参考にするということですが、更に客観性、普遍性を求めるならば、そういう部分にも配慮が必要だと思います。

(D委員)

問2の地区というのは子供に必要でしょうか。

問3の市の名前では、子供達が考えやすいようなものを示す意味で、歴史的な名称、地理的な名称、単純に縮めた名称、町としての考えている名称について記載したほうが良いのではないですか。問2をカットできれば、問3に載せられるのではと思います。

(Q委員)

問3で、先程「その他」の追加は少し遠慮した言い方でして、本来は少年少女達が自由な発想で自分達が今後こういう名称の地域で暮らしたいというようなものを書ければ良いというのが本音でした。こういう感じのものにはこういった名称という例を示すような載せ方は反対です。

(委員長)

問3については、1から10まで挙げる必要があるのか、いくつか挙げるにしても名前の由来や意味について簡単な説明を加えた方が良いのではないかという意見。逆に「その他」を加えたり、自由記述欄を加えるという意見が出ていますがいかがですか。

(E委員)

あくまでも参考意見ということですから、子供達の自由な発想の元に自由に書いてもらい、その理由を書いてもらう程度で良いかと思っておりますので、一切由来や意味は入れない形が良いです。

(B委員)

問3に関しては、Q委員、E委員に賛成で、何も例を挙げる必要はなく、次代を担う若い人達がどういう名前にしたいかを自由に書いていただければ良いと思います。

その前段階として、市の名前に関するアンケートで、「平成25年1月を目標に町から市に移るための準備を進めています」とありますが、7月のアンケートでは町から市に移るのが良いかを聞いているのに何故それを聞かないのか。前回事務局が中学校の生徒会役員と懇談した時に、ビルがたくさん建つような市は嫌だとか、市は自然が無くなるイメージで嫌だという話でした。子供だからといって馬鹿するものではなく、非常に真つ当な意見を持っていますので、町から市に移るのが良いか、そこからまず聞くべきだと思います。

小学校6年生と中学生を対象にするのは、何故かという次代を担う皆さんの意見を聞きたいという文章は入れるべきだと思います。

(K委員)

前回アンケートで、記入された具体的な名称の中で1件のみの主な回答がありますが、大人に聞いてもこの程度かなというものが回答の中にはあります。今度、小学校6年生から中学生に聞く時に何も書いていないと書きようがない気もしますので、何か書きやすいような良い文章があれば載せていただいた方が良いかと思っております。いくつか名称を挙げないと全然違う名前が挙がってしまう感じがします。

(Q委員)

先程の3択のとき1に挙げましたが、2となつていま議論していますが、元々7月のアンケート結果を踏まえながら、小中学生のアンケートをやりますが、私は10歳くらいからやったほうが良いと思いますが、その中で問3は、本当に子供達が真剣に考えて自由な発想で市名を考えるとすることは素晴らしいことですが、全く白紙で聞いても中には書きたくない人もいるかもしれませんので、前回のアンケートの3番目位までの名称を「これは例です」というような表現で載せて、自由な意見を求めたらいかがでしょうか。

(委員長)

意見を聞いていますと、自由なアイデアを出せる部分があつたほうが良いとのことですので、自由記述欄を設けて、それに加える形で選択肢を掲載することで設問の作り方はよろしいでしょうか。

=異議なしの声あり=

いくつ載せるかについてはいかがですか。委員長、副委員長、事務局一任でよろしいですか。

=異議なしの声あり=

(事務局)

小中学校を対象にアンケートを実施することについて、現場の声を反映させたいと思ひまして、今週 20 日が町立小中学校の校長会がありますので、校長先生の意見も伺いたいと事務局で思っておりますがいかがでしょうか。

=一任しますとの声あり=

(委員長)

その点については一任させていただくこととしてよろしいですか。

=はいとの声あり=

それでは一任させていただくとして問 3 については工夫させていただきます。

問 2 の地区を選ぶというのは不要と意見がありましたが、学校単位でやるのであれば省くことが合理的ですからよろしいですか。

=はいとの声あり=

それでは、実施の仕方については校長先生をはじめ現場の方の意見を踏まえた上で固めさせていただくことでよろしいでしょうか。

=はいとの声あり=

高校生を加えるかについてはいかがしますか。

(A 委員)

是非やってもらいたいです。

(委員長)

先程、事務局の懸念としては、町内在住ではない生徒もいるという点でどうかと話がありましたが、区別なく聞いて構わないですか。

(L 委員)

外からの意見も大事ではないかと思ひますし、その子達が将来本町に住むかもわかりませんので聞いていただきたいと思ひます。

(M 委員)

大網高校で町内在住の生徒はどの位いるのでしょうか。

(事務局)

把握しておりません。

(委員長)

高校生の実施方法について決を採りますか、一任でよろしいでしょうか。

=一任との声あり=

委員長、副委員長、事務局に一任いただくということで確認しました。

アンケートを実施する対象は子供達として、高校生を加えるかは一任いただくということで、この委員会で名称を決めて行くにあたっての判断材料を追加することを今日確認されました。ご了解願います。

今後この委員会としては引き続き議論を進めていきますが、アンケートの実施時期について事務局から説明願います。

(事務局)

小中学校については校長会にて協議させていただき、本日の会議結果とアンケート調査票様式の確認をしていきたいと考えております。校長会の状況によりませんが、2月中旬頃までには各学校に調査票を配布して2月下旬にはアンケートを実施して欲しい旨の要望はしていきたいと考えています。集計についても3月中旬位までに順調に行けば終わるのではと考えております。

高校につきましては一任との結果でしたので、まず大網高校へ実施が出来るか確認をしてまいります。実施できる場合には3月中旬までには集計を済ませて行きたいと考えています。

(委員長)

アンケート結果を踏まえた上で引き続き議論は続ける訳ですが、次回の委員会はアンケートの結果が出た後になりますので、3月中旬位になると思います。

(B委員)

アンケート調査票の冒頭の文章がこのままで良いとは思いません。移行時期の記載と、実施対象の理由の記載についてもう少し検討すべきではありませんか。

(委員長)

事務局として文章についていかがですか。

(事務局)

B委員から先程アドバイスをいただきました「次代を担う」というような表現を入れて、対象者を記載させていただきます。

=事務局に一任との声あり=

(委員長)

その説明の仕方についても事務局に一任ということでよろしいでしょうか。

=はいとの声あり=

それでは主旨を尊重した形で文面を考えることとします。

(B委員)

市制化が良いかどうかは聞かないということですか。

(委員長)

この点についてはどうしますか。

(K委員)

市制施行名称検討委員会がやることですので、必要はないと思います。

(委員長)

この委員会としては、市制化することを前提として名称をどうするかというところに焦点を合わせることから、聞かないということによろしいですか。

=異議なしの声あり=

それではそのような形で進めて行きたいと思います。

アンケート実施方法については色々意見が別れましたが、アンケートは我々の判断材料の一つということで今後も議論を進めて行ければと思います。

アンケート結果が出てから改めて議論を続けますが、結果を考慮した上で更に歴史的意味合いや、便宜上のもの等色々論点はあるかと思しますので、各委員がどのように考えているかを更に引き続き出し合っていただき、最終的な答申をまとめるよう今後の会議を進めて行きたいと思えます。

以上確認させていただき、今日は閉じさせていただきます。

#### 次第4. 閉会（進行）

ありがとうございました。以上をもちまして、第2回大網白里町市制施行名称検討委員会を閉会します。次回開催日については別途通知をいたします。

本日はお忙しいところ長時間慎重にご審議いただきありがとうございました。

午後4時10分解散